

4章 調査票

男女共同参画意識に関する調査へのご協力をお願い

県民の皆様へ

日頃から、県政の推進につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は男女共同参画に関して、県内にお住まいの皆様意識や実態を把握するもので、調査結果は今後の県の施策を検討する上での基礎資料にしたいと考えております。

このたび、18歳以上の愛知県民3,000人の方を無作為に抽出させていただいた結果、あなた様が対象となりました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

2019年7月 愛知県

- 調査対象者は、市町村の協力を得て、住民基本台帳から層化二段無作為抽出法で選出しております。
- この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、他の目的に使用することは決してありません。
- ご回答は無記名です。調査の結果は、統計的な集計・分析だけに用いられるので、お答えの内容や個人情報が外部に漏れることは一切ございません。

《ご記入にあたって》

- ◆あて名のご本人がお答えください。
- ◆ご回答は、濃いえんぴつ、ボールペンなどで、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
「その他」を選択した場合は、お手数ですが、()内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。
- ◆ご記入いただいた調査票は **2019年8月19日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。**

<問合せ先>

愛知県県民文化局男女共同参画推進課 担当：鶴藤・高木

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6179 (ダイヤルイン)

FAX：052-954-6951

メール：danjo@pref.aichi.lg.jp

ホームページ：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/danjo/

男女共同参画意識に関する調査

■男女平等について

問1. あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

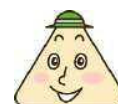
(AからHについてそれぞれ○をひとつ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
A 家庭生活	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
E 政治の場	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
G 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
H 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問2. あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
- 2 女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
- 5 行政や企業などの重要な役職に女性を積極的に登用する制度を採用・充実する
- 6 学校教育や社会教育、生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習する
- 7 その他(具体的に)
- 8 わからない

みなさんの意見を
教えてください♪



■家庭生活について

問3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてお伺いします。

(1) あなたは、この考え方について、どう思いますか。(○はひとつ)

1 賛成→ (2) へ	2 どちらかといえば賛成→ (2) へ	
3 どちらかといえば反対→ (3) へ	4 反対→ (3) へ	5 わからない

(2) (1) で 1・2 と答えた方にお聞きます。それはなぜですか。(○はいくつでも)

1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	
2 自分の両親も役割分担をしていたから	
3 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	
4 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから	
5 家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	
6 その他(具体的に)
7 特にない	

(3) (1) で 3・4 と答えた方にお聞きます。それはなぜですか。(○はいくつでも)

1 男女平等に反すると思うから	
2 自分の両親も外で働いていたから	
3 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから	
4 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	
5 家事、育児、介護は妻だけの役割ではないから	
6 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	
7 その他(具体的に)
8 特にない	
9 わからない	

問4. 「現在結婚している方(又はパートナーと暮らしている方)」にお聞きます。あなたの家庭では、次にあげる家事は主に誰が分担していますか。(AからHについてそれぞれ○をひとつ)

	夫	妻	夫婦	家族 全員	その他 の人	わから ない
A 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
B 食事の後かたづけ・食器洗い	1	2	3	4	5	6
C 掃除	1	2	3	4	5	6
D 洗濯	1	2	3	4	5	6
E 買い物	1	2	3	4	5	6
F 子育て(子どもの世話・しつけ・教育など)	1	2	3	4	5	6
G 介護(介護の必要な親の世話・病人の介護など)	1	2	3	4	5	6
H 家計の管理	1	2	3	4	5	6

問5. あなたは、男性が家事・子育てを行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 男性も家事、育児を行うことは当然である | |
| 2 家事・子育てを行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる | |
| 3 男性自身も充実感が得られる | |
| 4 子どもにいい影響を与える | |
| 5 仕事と両立させることは、現実として難しい | |
| 6 家事、子育ては女性の方が向いている | |
| 7 妻が家事、子育てをしていないと誤解される | |
| 8 周囲から冷たい目で見られる | |
| 9 男性は、家事、子育てを行うべきではない | |
| 10 その他（具体的に |) |
| 11 特にない | |
| 12 わからない | |

問6. 男性が、仕事以外の生活も重視した働き方を選択することについて、あなたが受け入れられるものはどれですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 子育て、介護のための休暇を取得する | |
| 2 リフレッシュのための休暇を取得する | |
| 3 子育て、介護のための短時間勤務制度を活用する | |
| 4 仕事と子育て、介護を両立するため、仕事の負担を軽減してもらう | |
| 5 仕事と子育て、介護を両立するため、賃金が下がっても転職する | |
| 6 子育て、介護のためにいったん離職する | |
| 7 主夫として、家事、子育て、介護を行う | |
| 8 その他（具体的に |) |
| 9 特にない | |
| 10 わからない | |

■女性の活躍について

問7.あなたが、女性が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---|
| 1 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員 | |
| 2 都道府県・市町村の首長 | |
| 3 国家公務員・地方公務員の管理職 | |
| 4 企業の経営者 | |
| 5 企業の管理職 | |
| 6 弁護士・医師などの専門職 | |
| 7 大学・企業などの研究者 | |
| 8 小・中・高校の管理職 | |
| 9 大学教授 | |
| 10 自治会・PTAなどの役員 | |
| 11 その他（具体的に |) |
| 12 女性が増えない方がよい | |
| 13 わからない | |

問 8. あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由は何だと思えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 家庭、職場、地域における性別役割分担、性差別の意識 | |
| 2 男性優位の組織運営 | |
| 3 家庭の支援、協力が得られない | |
| 4 女性の能力開発の機会が不十分 | |
| 5 女性の活動を支援するネットワークの不足 | |
| 6 女性側の積極性が不十分 | |
| 7 その他(具体的に |) |
| 8 わからない | |

問 9. 女性が職業を持つことについて

(1) あなたの考え方は次のどれに近いですか。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|------------------------------------|---|---------|---|---------|---|
| 1 女性は職業を持たない方がよい | } | → (2) ^ | } | → (3) ^ |) |
| 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい | | | | | |
| 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい | | | | | |
| 4 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい | } | → (3) ^ | | | |
| 5 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい | | | | | |
| 6 その他(具体的に | | | | | |
| 7 わからない | | | | | |

(2) (1) で 1・2・3 と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 女性は家庭を守るべきだと思うから | |
| 2 子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから | |
| 3 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから | |
| 4 女性も経済力を持った方がいいと思うから | |
| 5 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから | |
| 6 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから | |
| 7 働き続けるのは大変そうだと思うから | |
| 8 その他(具体的に |) |
| 9 特にない | |
| 10 わからない | |

(3) (1) で4・5と答えた方にお聞きます。それはなぜですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 女性は家庭を守るべきだと思うから | |
| 2 働くことを通じて自己実現が図れると思うから | |
| 3 子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから | |
| 4 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから | |
| 5 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから | |
| 6 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから | |
| 7 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思うから | |
| 8 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから | |
| 9 その他(具体的に |) |
| 10 特にない | |
| 11 わからない | |

問 10. 男性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 男性は職業を持たない方がよい | |
| 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい | |
| 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい | |
| 4 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい | |
| 5 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい | |
| 6 その他(具体的に |) |
| 7 わからない | |

問 11. あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、またはしたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 専門知識が活かせる | 2 性格、能力が適している |
| 3 仕事にやりがいがある | 4 能力本位で実績が評価される |
| 5 業種に将来性がある | 6 給与の条件が良い |
| 7 勤務時間、勤務場所の条件が良い | 8 職場の雰囲気が良い |
| 9 育児や介護への理解や制度が整っている | |
| 10 その他(具体的に |) |
| 11 特にない | 12 わからない |

問 12. あなたは、管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 やりがいのある仕事ができる | 2 賃金が上がる |
| 3 能力が認められた結果である | 4 家族から評価される |
| 5 自分自身で決められる事柄が多くなる | 6 やるべき仕事が増える |
| 7 責任が重くなる | 8 やっかみが出て足を引っ張られる |
| 9 仕事と家庭の両立が困難になる | |
| 10 その他(具体的に |) |
| 11 特にない | 12 わからない |

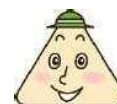
問 13. あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 家事・育児支援サービスの充実
- 4 男性の家事参加への理解・意識改革
- 5 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 6 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 7 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 8 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 9 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
- 10 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
- 11 その他（具体的に _____)
- 12 特にない
- 13 わからない

問 14. 出産などでいったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 これまでの知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
- 2 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 3 これまでの知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- 4 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- 5 家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する（ヘルパー、保育補助、家事代行）
- 6 これまでの経験を生かしてボランティアや NPO 活動で地域に貢献する（育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など）
- 7 これまでの経験を生かして企業または NPO の立上げを行う（小売店経営、IT 企業設立、ボランティア団体設立など）
- 8 家事以外で活動する必要はない
- 9 その他（具体的に _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

半分まで来ました！！



問 15. 女性の活躍推進の取組に関する情報について

(1) どの情報が特に必要になると感じますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など) | |
| 2 放課後児童クラブに関する情報 (場所、利用料など) | |
| 3 介護・家事の支援サービスに関する情報 (内容、利用方法など) | |
| 4 就職・再就職のための職業訓練に関する情報 (利用方法、相談先など) | |
| 5 起業・NPO 活動のための情報 (支援内容、相談先など) | |
| 6 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報 (内容、利用方法など) | |
| 7 出産・育児などを経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報 | |
| 8 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報 | |
| 9 ワーク・ライフ・バランスの推進や、働き方の見直しの実践例に関する情報 | |
| 10 その他 (具体的に |) |
| 11 特にない | |
| 12 わからない | |

(2) あなたが選んだ情報入手する際、どの媒体を特に利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 新聞、雑誌 | 2 テレビ、ラジオ |
| 3 Web ページ、SNS、アプリなど | 4 政府や地方自治体が発行する広報誌 |
| 5 その他 (具体的に |) |
| 6 特にない | 7 わからない |

問 16. 働く場において女性が更に活躍するためには、次の A・B において、どのような取組が必要だと思えますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| A【愛知県】 | |
| 1 女性活躍の先進事例等のメリットを企業に情報提供する | |
| 2 経営者向けのセミナーなどを開催する | |
| 3 女性活躍を推進するアドバイザーなどを企業に派遣する | |
| 4 女性活躍に取り組む企業の表彰及び PR をする | |
| 5 学校等においてキャリア教育を行う | |
| 6 保護者向けに男女共同参画意識を持ってもらうための啓発を行う | |
| 7 子育て環境 (保育所等) を整備する | |
| 8 女性管理職を養成するセミナーを実施する | |
| 9 男性管理職向けセミナーを実施する | |
| 10 働く女性同士の情報交換や異業種交流などのネットワークを構築する | |
| 11 ワーク・ライフ・バランスの啓発を行う | |
| 12 女性の再就職支援を行う | |
| 13 女性の活躍に取り組む企業の公共調達の優遇策を導入する | |
| 14 女性の活躍に取り組む企業への助成を行う | |
| 15 県が率先して、女性の活躍促進に取り組む | |
| 16 その他 (具体的に |) |
| 17 特にない | |

B【企業】	
1	女性の継続就業（育児休業等からの職場復帰など）に関する支援
2	超過勤務削減などワーク・ライフ・バランスを促進させる取組
3	女性のモチベーション（やる気・熱意）や職業意識を高めるための研修機会の付与
4	メンター（指導者・助言者）制度の導入
5	ロールモデル（手本となる先輩社員）の育成
6	セクシュアル・ハラスメント（※）防止など職場環境の整備
7	男性に対する女性の活躍の必要性についての理解促進
8	公正・透明な人事管理制度、評価制度の構築
9	採用・昇進・配置において女性が満たしにくい要件（転勤要件など）の緩和
10	OJT（職場での実務を通じて行う従業員の教育訓練）及び OFF-JT（社外での研修による技術や業務遂行能力の訓練）の人材育成の機会を男女同等に与えること
11	転勤先の希望を考慮する等の転勤時の配慮、転居を伴う転勤の際に夫婦帯同を認めること
12	その他（具体的に
13	特にない

（※）主に職場において、労働者の意に反する性的な言動が行われ、それを拒否したことで解雇、降格、減給などの不利益を受けることや、性的な言動が行われることで職場の環境が不快なものとなったため、労働者の能力の発揮に大きな悪影響が生じること

問 17. 身近な女性が研究者や技術者などの理工系分野の職業を目指すことについて

（1）このことについて、どのようにお考えですか。（○はひとつ）

1	全く抵抗はない → (2) へ	2	あまり抵抗はない → (2) へ
3	少し抵抗がある → (3) へ	4	とても抵抗がある → (3) へ
5	わからない		

（2）（1）で1・2と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	職業と性別は関係ないから
2	理工系分野に女性が求められており、就職がしやすいから
3	理工系分野で活躍している女性が増えてきているから
4	家庭をもっても、理工系分野の職業なら両立できるから
5	理工系分野の職業は給与が高いから
6	その他（具体的に
7	わからない

（3）（1）で3・4と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	女性は理工系分野に向いてないから
2	理工系分野は女性の就職先が少ないから
3	理工系分野で女性が活躍しているイメージがない、湧かないから
4	理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから
5	理工系分野の大学は学費が高いから
6	その他（具体的に
7	わからない

■ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問 18. あなたは、生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。

(A、B についてそれぞれ○をひとつ)

A 希望として	
1 「仕事」を優先したい	2 「家庭生活」を優先したい
3 「地域・個人の生活」を優先したい	4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい	
8 その他（具体的に)
9 わからない	
B 現実として	
1 「仕事」を優先している	2 「家庭生活」を優先している
3 「地域・個人の生活」を優先している	4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している	
8 その他（具体的に)
9 わからない	

問 19. あなたは、仕事以外に地域で何か活動に参加した経験はありますか。(○はひとつ)

1 現在参加している→ (1)、(2) へ
2 かつて参加していたが現在は中止している→ (1)、(2) へ
3 参加したことはない→ (2) へ

(1) 現在（今までに）どのような活動に参加していますか（した経験がありますか）。(○はいくつでも)

1 PTA・子ども会
2 女性の会・地域女性団体（又は男性の会・地域男性団体）
3 町内会・自治会
4 老人クラブ・高齢者の会
5 福祉や子育て支援などのボランティア活動
6 消費や環境などの市民活動
7 教養・趣味・スポーツのサークル
8 その他（具体的に
)

(2) 今後又は引き続き、あなたが参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

1 PTA・子ども会
2 女性の会や地域女性団体（又は男性の会や地域男性団体）
3 町内会・自治会
4 老人クラブや高齢者の会
5 福祉や子育てなどのボランティア活動
6 消費や環境などの市民活動
7 教養・趣味・スポーツのサークル
8 参加したいとは思わない
9 その他（具体的に
)

問 20. あなたは、今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと | |
| 2 | 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと | |
| 3 | 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること | |
| 4 | 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること | |
| 5 | 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること | |
| 6 | 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること | |
| 7 | 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの ICT（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること | |
| 8 | 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと | |
| 9 | 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること | |
| 10 | その他（具体的に |) |
| 11 | 特に必要なことはない | |

■ 地域活動

問 21. あなたは、自治会長や PTA 会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと | |
| 2 | 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと | |
| 3 | 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること | |
| 4 | 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと | |
| 5 | 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること | |
| 6 | その他（具体的に |) |
| 7 | 特にない | |
| 8 | わからない | |

■ 性的少数者やドメスティック・バイオレンス（DV）などについて

問 22. 性的少数者について

(1) あなたは、性的少数者に関する次のことについて知っていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 | 性的少数者を表す言葉のうち、レズビアン（Lesbian：女性同性愛者）、ゲイ（Gay：男性同性愛者）、バイセクシュアル（Bisexual：両性愛者）、トランスジェンダー（Transgender：性同一性障害などで、心と体の性が一致しない人）の人を、それぞれの頭文字をとり、「LGBT」というものがあること |
| 2 | 性的少数者を表す言葉のうち、性的指向（Sexual Orientation：「どのような性別を好きになるか」と性自認（Gender Identity：「自分の性をどのように認識しているか」、「心の性」）の頭文字をとり、「SOGI」というものがあること |
| 3 | 本人が、公にしていなかった性的指向や性自認を表明することを「カミングアウト」と呼ぶこと |
| 4 | 本人の了承なく、性的指向や性自認を暴露することを「アウティング」と呼ぶこと |
| 5 | 性的少数者が雇用や健康、家族形態など、様々な面で困難な状況にあること |

(2) 身近な方（家族、友人など）が性的少数者だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。

(○はひとつだけ) (ご自身が性的少数者である方もお答えください)

1 できる	2 できない	3 わからない
-------	--------	---------

(3) 学校や職場内の方が性的少数者だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。

(○はひとつだけ) (ご自身が性的少数者である方もお答えください)

1 できる	2 できない	3 わからない
-------	--------	---------

問 23. DV について

(1) あなたは、DV に関する次のことについて知っていますか。(○はいくつでも)

1 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス (DV)」と呼ぶこと
2 DV には、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること
3 DV 被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること
4 3の法律に基づき、県や名古屋市が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること
5 3の法律に基づき、DV を受けている者を発見した者は、配偶者暴力相談支援センター又は警察に通報するよう努めなければならないこと
6 その他（具体的に _____)

(2) あなたは、DV について相談できる窓口があることを知っていますか。(○はひとつ)

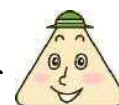
1 知っている→ (2) へ	2 知らない
----------------	--------

(3) (2) で1と答えた方に伺います。相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。

(○はいくつでも)

1 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター、名古屋市配偶者暴力相談支援センター）
2 市役所、町村役場
3 警察
4 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
5 法務局、人権擁護委員、法テラス
6 その他（具体的に _____)

あともう少し!



問 24. あなたは、DV、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春などを防止するために何が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 法律・制度の面で見直しを行う（罰則の強化など） | |
| 2 犯罪の取り締まりを強化する | |
| 3 捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害者が届けやすいようにする | |
| 4 メディア（放送、出版、新聞など）を活用して、広報・啓発活動を積極的に行う | |
| 5 被害者のための相談窓口や保護施設を整備する | |
| 6 家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる | |
| 7 加害者に対するカウンセリングや更正を促すプログラムを実施する | |
| 8 職場での男女の人権が軽視されないように、管理者の人権教育を図る | |
| 9 メディアが自主的に倫理規定を強化する | |
| 10 これらを助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる | |
| 11 特に対策の必要はない | |
| 12 その他（具体的に |) |
| 13 わからない | |

■男女共同参画行政について

問 25. あなたは、次にあげる「男女共同参画社会（※）」に関する言葉を知っていますか。(○はいくつでも)

(※) 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 1 男女共同参画社会基本法 | 2 女子差別撤廃条約 |
| 3 ポジティブ・アクション（積極的改善措置） | 4 ジェンダー（社会的性別） |
| 5 男女雇用機会均等法 | 6 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） |
| 7 女性活躍推進法
（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律） | |
| 8 その他（具体的に |) |
| 9 知らない | |

問 26. あなたは、男女共同参画社会を推進していくために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 法律・制度の面で見直しを行う | |
| 2 政治や行政などにおける政策決定の場に、女性を積極的に登用する | |
| 3 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する | |
| 4 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底が図られるよう企業等に働きかける | |
| 5 労働時間の短縮や、在宅勤務、柔軟な労働時間制度など、男性も含めた働き方の見直しを進める | |
| 6 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する | |
| 7 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する | |
| 8 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する | |
| 9 学校や生涯教育などの場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | |
| 10 女性や男性の生き方に関する情報提供や相談などの場を充実する | |
| 11 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力について PR する | |
| 12 特になし | |
| 13 その他（具体的に |) |
| 14 わからない | |

問 27. あなたは、男女共同参画を推進するための活動拠点施設である「ウィルあいち（愛知県女性総合センター）」（名古屋市東区）を知っていますか。（○はひとつ）

1 利用したことがある	2 利用したことはないが、知っている	3 知らない
-------------	--------------------	--------

問 28. あなたは、「ウィルあいち」では、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（○はいくつでも）

1 男女共同参画について県民に広く啓発するためのイベントの充実
2 男女共同参画に関する知識の普及を図るための講座、講演会などの充実
3 女性の抱える問題に関する相談事業の充実
4 市町村や女性団体、NPOなどへの活動支援やネットワークづくりの充実
5 女性がさまざまな分野で活躍するための研修や講座などの充実
6 男女共同参画に関する情報や書籍、資料などの収集・提供の充実
7 男女共同参画に関する調査研究事業の充実
8 心身の健康づくりに関する事業の充実
9 特にない
10 その他(具体的に)
11 わからない

■あなた自身のことについて

問 29. 調査結果を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。

【令和元年7月1日現在】

A【性別】（○はひとつ）		
1 男性	2 女性	3 答えたくない、わからない、その他
B【年齢】（○はひとつ）		
1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代
4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
7 70歳以上		
C【職業】（○はひとつ）		
(育児・介護休業中等の方も働いているものとみなしてください。2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。)		
1 自営業（農林漁業）	2 自営業（商工サービス業）	
3 自営業（自由業）	4 会社員、公務員など（管理職）	
5 会社員、公務員など（専門技術職）	6 会社員、公務員など（事務職）	
7 会社員、公務員など（労務職）	8 その他の職業	
9 主夫（婦）	10 学生	
11 無職		
D (1)【未婚／既婚】あなたは、現在結婚しているでしょうか（事実婚を含む）。（○はひとつ）		
1 結婚している→	(2) へ	2 結婚していたが、死別・離別した
		3 結婚していない
(2)【共働きの有無】夫婦とも職業をお持ちですか。（○はひとつ）		
1 夫婦とも働いている（パート、アルバイトを含む）→	(3) へ	
2 妻のみ就業→	(3) へ	
3 夫のみ就業→	(3) へ	
4 その他→	E へ	

(3) 【配偶者の雇用形態】 あなたの配偶者はどのような働き方をしていますか。(○はひとつ)	
1 自営業	2 雇用者(常勤(フルタイム))
3 雇用者(非常勤(パート、アルバイト))	4 無職
E (1) 【子どもの有無】 あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。(○はひとつ)	
1 いる→(2)へ	2 いない
(2) お子さんは、次のどれにあたりますか。(2人以上いらっしゃる場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください)	
1 就学前	2 小学生
3 中学生	4 高校生
5 大学生(短大、大学院を含む)	6 専修学校・各種学校生
7 就業している	8 その他の無職
F 【世帯構成】 あなたのご家庭は、次のどれにあたりますか。(○はひとつ)	
1 単身世帯(1人)	2 1世代世帯(夫婦のみ)
3 2世代世帯(親と子ども)	4 3世代世帯(親と子どもと孫)
5 その他(具体的に)
G 【地域】あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○はひとつ)	
1 名古屋地域	名古屋市
2 尾張地域	一宮市・瀬戸市・半田市・春日井市・津島市・犬山市・常滑市・江南市・小牧市・稲沢市・東海市・大府市・知多市・尾張旭市・岩倉市・豊明市・日進市・愛西市・清須市・北名古屋市・弥富市・あま市・長久手市・愛知郡・西春日井郡・丹羽郡・海部郡・知多郡
3 西三河地域	岡崎市・碧南市・刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・知立市・高浜市・みよし市・額田郡
4 東三河地域	豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・北設楽郡
最後に、愛知県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。	

アンケートは以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を8月19日までに同封の返信用封筒にてご返送ください。

ご協力、よろしくお願い申し上げます。

